

令和7年度 井川中学校 学校評価：強みを活かした重点課題の改善ロードマップ

本校における強み ICT活用と授業実践（スコア3.8）

タブレットや電子黒板を有効に活用した「わかる授業」の評価が高く、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）への基礎が整いつつある。

重点課題 改善が必要な分野（スコア3.2）

業務改善、働き方改革、PTA活動の活性化、「徳島県版読解力の育成」が早急に取り組むべき課題として挙げられる。



これらの戦略的解決策として、本校の強みであるICT（スコア3.8）で、「徳島版読解力」の育成を図っていく。
（多様なメディアで情報を可視化・整理し、生徒が正確に情報を読み解く土台をICTで構築する）



【導入】

A：情報を正確に捉える力の育成（個別学習）
ICT機器を用いて、多様なメディア情報を可視化・整理し、読み違いや思い込みを防ぎ、正確に情報を読み取る土台を育成する。

【展開】

D：交流を生かして考えを実現する力の育成（協働学習）
タブレット等で互いの考えをリアルタイムに発信し、相手の視点を取り入れながら自分の考えを深める。

【ふりかえり】

E：学んだことを振り返る力の育成（個別学習）
デジタルポートフォリオ等を活用し、自分の学びのプロセスを客観的に見直し、新たな問題解決へつなげる「振り返り」を習慣化する。



組織的な改善サイクル

「めあて」と「ふりかえり」の連動

授業内での「めあて」の提示とICTを活用した効果的な「ふりかえり」を行うことで、生徒の学習意欲と読解力を確実に高めていく。

PTA・地域との連携と業務効率化

PTA活動等においてもICTを効果的に活用し、連携の効率化や負担軽減を図ることで、学校・家庭・地域が持続可能な形で協力できる体制を目指す。